

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	孫占坤
演習テーマ	国家・民族の国際関係学
校外実習	1、実施しない 2、実施 (実施時期: _____ 年 _____ 月)
メール・アドレス	sun@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	火曜昼。まず、メールをください。時間帯について柔軟に対応する。
2021 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	ない。
授業概要	近代主権国家/国民国家についての歴史的、理論的理解を深めるため、民族紛争を主な研究素材として取り上げる予定。2 年次ゼミでの基礎学習やイスラエル・パレスチナへの校外実習をベースにしつつ、代表的なトピックについてより深く掘り下げるつもり。
学習目標	下記 3 点を学習目標とする。 (1) パレスチナ紛争発生・展開の原因と過程をより理解すること、(2) 近現代主権国家システムの意義と限界について理解すること。(3) 民族・地域紛争を解決するための国際的枠組 (法制度、組織など) として、何が適切なのかを理解すること。
授業計画	詳細は新学期に向けての「シラバス」に参照していただきたいが、年間計画として、次のように考えている。 春学期 (演習 2A) : パレスチナ問題について論文や映像を通して更に掘り下げ、紛争の意義をより深く理解する。 秋学期 (演習 2B) パレスチナ問題以外のケースも議論することで、近代主権国家の意義を確認し、限界を認識していく。そのうえ、紛争解決の制度、仕組みについて考える。
予習	報告内容と報告スタイルの両方において、事前の準備が不可欠。
復習	授業の内容をより良く把握してもらうため、復習課題を課す予定。
授業に関する 注意事項	① (当然なことだが) ゼミに欠席せず、必ず出席すること。 ② 出席するだけでなく、積極的に議論に参加すること。
教科書	月村太郎『民族紛争』岩波書店。 山影 進 (編著)『主権国家体系の生成』ミネルヴァ書房。
参考書	千葉 真『連邦主義とコスモポリタニズム』風行社。
成績評価の 基準	授業の参加度 : 50%、レポート : 50%。
関連 URL	
備考	